

日本海洋学会 2014年度第7回幹事会 議事録(案)

日時：2015年3月7日(土) 13:30~17:50

場所：東京海洋大学 品川キャンパス 9号館 203号室

出席者：植松会長、日比谷次期会長、須賀副会長、神田次期副会長、市川、岡、小畑、川合、河野、久保田、杉崎、鈴木、原田、山中、寄高、[次期幹事会メンバー] 石坂、伊藤、小笠、齊藤、東塚、事務局・毎日学術フォーラム(小野、平坂)

欠席者：津田

議題：

1. 議事録(案) 確認(川合幹事)

2014年度第6回幹事会の議事録を承認した。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡幹事)

資料に基づき、2014年度12月~2015年1月の入退会を承認した。通常会員6名、学生会員18名の入会があり、1月現在の会員数は1767名となった。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

4件の依頼について、承認した。

(3) 募集・推薦等の依頼について(岡幹事)

公募・推薦の依頼について、適宜MLにて周知、対処したことが報告され、承認された。

(4) 2014年度決算及び2015年度予算案について(寄高幹事)

2014年度決算を確認した。収入については、Springerからの印税と大会開催戻り金などによる増額があった。支出では大会開催費に大幅な増加があったが、これは2015年度春季大会開催費を含めたことと、これまでの大会間の繰越金を寄付頂き、開催費増額したことによる。続いて2015年度予算について検討し、承認した。来年度はJO掲載料による事業収入が見込まれる。前回承認された、会員情報更新のためのウェブ登録システムの利用については、移動の多い4月に会員番号を知らせることができず、実行が上がらないと推定されるため、取りやめることとなった。予算にも計上しない。

(5) 地学オリンピックへの協賛金について(岡幹事)

毎年、地学オリンピックの協賛金として5万円を支払っている。来年度は、2016年の日本開催のための募金に振り替えてほしいとの依頼があり、審議の結果これを承認した。

(6) 震災特設サイト情報提供用のTwitterアカウントの抹消について(杉崎幹事)

震災対応WG解散後、Twitterアカウントを使用していないので閉鎖してはどうか

との提案があり、承認した。ウェブサイトの震災特設ページはそのまま残し、今後も震災関連情報の掲載を行う。

(7) 2016 年度春季大会・秋季大会開催などについて（鈴木幹事）

2016 年度春季および秋季大会の開催予定について確認し、承認した。ただし、春季大会の日程は引き続き調整中である。秋季大会については、準備の都合により、通常よりも半年早く承認を求められている。このため、次の評議員会では春季・秋季両大会の開催について審議に諮る。

大会開催費 100 万円には、総会や各種委員会の会場費、要旨集 10 部購入代など、学会が支払うべき代金が含まれていることを確認した。このことを周知するための文書を会長名で作成し、今後の大会開催費振込の前に、大会実行委員会に送付することとなった。

また、大会参加費のカード・コンビニ決済契約のための大会用口座を開設することについて議論した。大会間の決算の仕分けの問題などについて更なる検討が必要であり、今後審議を継続することとした。

(8) 2015 年度春季大会評議員会及び総会への報告書について（鈴木幹事）

大会運営 WG から、これまでの会合、関連団体へのアンケート、会員からの意見募集などをもとに作成した提案報告書の説明があった。この報告書を次回評議員会で提示することを承認した。今後、これらの提案をもとに、2016 年春季大会での具体的取り組みに向けて幹事会及び大会実行委員会で議論を継続することとなった。

(9) 2015 年度春季大会評議員会及び総会議事次第案（小畑幹事）

資料をもとに、評議員会および総会の議事次第について確認し、承認した。2016 年度以降の若手支援事業の継続について評議員会で審議すること、大会運営 WG については会長から取り組みを紹介すること、各賞授賞式の前に海洋未来技術研究会参加企業 4 社への感謝状贈呈式を行うことを確認した。

3. 報告事項

(1) 会長（植松会長）

6 本の矢に関連する活動の報告があった。各賞への会員推薦、広報委員会発足、大会運営 WG の活動の状況、海洋と宇宙の連携シンポジウムの共催、北方圏国際シンポジウムへの来賓としての出席の他、ドイツ G7 サミットで配布する提言に、CO₂ 削減、人為起源物質規制、科学的資源管理、Biodiversity、将来予測に向けての国際共同活動などが含まれたことが報告された。

(2) 副会長（須賀副会長）

学界動向は 3 月発行の NL に掲載される予定。抜粋を評議員会および総会で紹介する。

(3) 編集

① JO（日比谷編集委員長）

順調に発行している。Minhan Dai、Chai Fei 両編集委員の後任の一人として、Jim Cristian 氏が就任することが、メール審議により承認された。また、編集委員長交代時の投稿論文の取り扱いについて確認した。

② 海の研究（久保田編集委員長）

順調に発行している。

(4) 広報（原田幹事）

広報委員会設置について、評議員会での説明資料を確認し、一部を修正することとなった。

(5) 海洋環境委員会（鈴木幹事）

2015 年度委員委嘱、青い海助成事業の実施に関して、委員会メンバーからの意見が紹介された。通年募集を検討する予定である。

(6) 日本地球惑星科学連合（原田幹事）

次回大会開催について紹介があった。国際化を進めており、発表やスライドの英語化について議論している。将来的に AGU との共同開催を目指している。

(7) 震災対応（神田幹事）

関連書籍が出版された。

(8) 海洋未来技術研究会（須賀副会長）

海洋未来技術研究会への感謝状を、元会長個人ではなく、参加企業 4 社に 1 枚ずつ贈呈することとなった。

(9) 若手支援（須賀副会長）

2015 年度若手海外渡航援助前期分の募集を開始した。若手集会支援事業については、次回の評議員会・総会での承認後、すぐに募集を始める予定。

(10) 海洋観測ガイドライン編集委員会（河野幹事）

2014 年 12 月に開催した第 1 回海洋観測ガイドライン編集委員会について報告があった。

(11) その他（川合幹事）

次期学習指導要領改訂に向けて、JpGU 教育検討委員会で準備がすすめられていることが紹介された。

4. その他

・幹事の役割分担について（岡幹事）

幹事の担当と業務内容について確認した。

・震災対応幹事について（神田幹事）

ウェブサイトでの情報提供を充実させる必要があるため、来年度は震災対応幹事を 3 名に増員し、神田次期副会長、小笠幹事、伊藤幹事が担当することとなった。

次回幹事会 日時：3 月 21 日 18：00～

場所：東京海洋大学 品川キャンパス内 9号館 203号室